

会員交流会(電気・機械グループ)開催

「米国知財対策」

会員交流会(電気・機械グループ)が1月16日に住友クラブで開催されました。

当日は14名が参加し、「米国知財対策」をテーマに、グループリーダーの井内弁理士の司会で論議されました。パテントロールを題材にしたNHK土曜TVドラマ「太陽の罠」(昨年12月放映)と同様な米国の特許訴訟・係争も話題になりました。生々しい内容を詳しく紹介できないのが残念ですが、概要を以下に記します。

はじめに、井内先生から特許マフィアに象徴されるように米国の特許対策が一番たいへんなこと、知財ビッグバン後は知財係争が増えていること等が話されました。

その後、交流会メンバーから報告や質問がなされ、それをもとに助言や議論が行われました。米国に限らず他の外国に対する特許実務にも話が及びました。

- ・どの国に出願すべきか。
- ・外国出願に考慮すべき順番はあるか。
- ・PCT出願か、パリルートか。
- ・間違いのない翻訳のコツ。
- ・現地代理人の選定。
- ・係争を避ける手段。
- ・IDS(情報公開陳述書)では、どの程度の情報を提供すべきか。
- ・陪審員制度の留意点。
- ・訴訟代理人の弁護士費用はどの程度か。アップル・サムスの例では。
- ・審査官との面談は有効か。
- ・Office action 対応方法。
- ・年金支払い業務専門会社に関する情報。
- ・ドイツ実用新案制度の利用法。

その他、会員の米国訴訟体験談もあり、今回も大変充実した内容でした。

【次回の予定】

電気・機械グループ： 3月20日(木) 14～17:00 テーマ「社内知財教育」

化学・材料グループ： 2月12日(水) 14～17:00 テーマ「他社特許監視体制」です。

※会員交流会には、いつでも参加できます。当協会の事務局にご連絡ください。